

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 50代	糖尿病 (合併症なし)	50mg 1日間	<p>アナフィラキシーショック 既往歴：高血圧症，高脂血症 身長：174cm 体重：84kg</p> <p>投与開始日 A院内科かかりつけ，内科外来定期受診。糖尿病と指摘され， (投与中止日) 糖尿病治療のため本剤（経口，50mg，1日1回，朝食後） 投与開始。同日服用。 夕方より体全体の痒み症状出現し，吐き気，息苦しさを認め たが，自宅で経過観察した。アナフィラキシーショック，吐 き気を発症。本剤投与中止（再投与の有無：無）。</p> <p>投与中止1日後 症状改善しないため，独歩でA院受診。 血圧86/61mmHg，SpO2 95% (Low)。 努力様呼吸，体幹発赤著明であり，アナフィラキシーショッ クの診断で入院。 アドレナリン0.25mg皮下注射，ヒドロコルチゾンコハク酸エ ステルナトリウム500mg静脈注射，生理食塩水100mL点滴静 脈注射。皮膚科コンサルトし，体幹発赤に対して，オロパタ ジン錠5mg 1日2回（朝夕食後）投与。クロベタゾールプ ロピオン酸エステル軟膏0.05%50gと白色ワセリン50gを混合 し1日2回塗布開始。 吐き気の転帰は回復。</p> <p>投与中止2日後 吐き気消失。発赤，そう痒感は残存。 投与中止3日後 発赤，そう痒感あるも改善あり。 投与中止4日後 発赤残存するが改善しており他の症状も改善が見られるため 退院となる。 投与中止9日後 アナフィラキシーショックの転帰は回復。</p>
併用薬：ベニジピン塩酸塩，オルメサルタンメドキシミル，ロスバスタチンカルシウム，フェブキソスタット， ゾルピデム酒石酸塩				